

ねんど
令和3年度

かていがくしゅう てび

家庭学習の手引き



ひがしおおさかしりつなわてひがししょうがっこう
東大阪市立縄手東小学校



いえ けいかくてき がくしゅう 家でも計画的に学習をしましょう！！

・**低学年**（ていがくねん）・・・宿題（しゅくだい）を確実に（かくじつ）家でできる習慣（いへ）を身につけ、学校（がっこう）で学んできたこと（まな）をおさらい（い）しましょう。

・**高学年**（こうがくねん）・・・自主学習（じしゅがくしゅう）の習慣（しゅうかん）をしっかり身につけ、家庭学習（かていがくしゅう）でしっかり予習復習（よしゅうふくしゅう）ができるように（き）しましょう。

一般的（いっぱんてき）に、10分（じゅうぶん）×学年（がくねん）が家庭学習（かていがくしゅう）にかかる時間（じかん）の最低ライン（さいていらいん）と言われています。この時間（じかん）は、

集中（しゅうちゅう）して取り組み（とく）み、机（つくえ）に向かっている時間（じかん）とされています。

たとえば、1年生（ねんせい）では、10分（じゅうぶん）×1年（ねん）＝10分（じゅうぶん） 6年生（ねんせい）では、10分（じゅうぶん）×6年（ねん）＝1時間（じかん）ということになります。

$$10分 \times 各学年 = 家庭学習$$

かていがくしゅう ほうほう 家庭学習の方法

☆ **決まった時間・決まった場所**（きまめたじかん・きまめたばしょ）

☆ **学校から出される宿題がまず基本**（がっこうからだされるしゅくだいきほん）

☆ **学習中はテレビなどを切り、机やテーブルの上には学習用具だけをおく**（がくしゅうちゅうはテレビなどをきり、つくえやうえにはがくしゅうようぐだけをおく）

☆ **前の日に次の日の準備（時間割、持ち物）をする**（まえひにつぎひのじゅんびじかんわりものものをする）

☆ **すすんで楽しく**（すすんでたのしく）



「できることを続ける」ことが何より大切です。がんばりましょう！

保護者の皆様へ

この家庭での自主学習が日々の生活の一部になる、すなわち家庭学習が定着するためには、保護者の皆様の継続した働きかけが必要です。この「家庭学習の手引き」を適宜活用していただいて、家庭学習習慣の定着に向けてご協力お願いいたします。

☆ お子さんが学習している姿を見かけましたら、ほめてあげてください。

子どものやる気につながります。

1年

かていがくしゅう

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】 ☆まずは宿題を確実にやりましょう！

- 1 音読・・・お家の人に聞いてもらいましょう。
- 2 国語・・・文字を丁寧に書きましょう。
- 3 算数・・・できたら必ず見直ししましょう。

【自主学习】

こくご
《国語》



1 音読（声に出して読みましょう。）

○今、学習しているところを声に出して読みましょう。

（言葉をハキハキと発音し、止まらずにすらすらと音読できるように練習しましょう。）

2 文字の練習

○鉛筆の持ち方を常に意識してゆっくり丁寧に書きましょう。

○書き順やバランスに気を付けて、ひらがな・カタカナ・漢字を練習しましょう。

3 読書

○1日10分以上を目標に、絵本やいろいろな種類の本を読みましょう。

4 作文（日記）

○言葉をつなげる「は」「を」などに気を付けましょう。

例「わたしは、うたをうたいます。」

○カタカナや漢字を使った文を作ってみましょう。

例「ぼくは、土のなかにアサガオのたねをうえました。」



《算数》

1 授業で学習したことの復習

○100を少し超える大きい数（130ぐらい）の数がわかり、正しく読めるようにしましょう。

○形や大きさをくらべ、ちがいがわかるようにしましょう。

○時計の読み方を練習しましょう。



2 計算力のアップ

○計算ドリルや計算カードを使って、何回も練習しましょう。

3 プリントやテスト

○間違えた問題は、何度も練習して、解けるようになりましょう。

《その他》

○お家にある問題集をするのもいいです。

(答え合わせまで行い、まちがったところはやり直しを必ずします。)

○上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいです。

保護者の皆様へ

一年生の学習は、学習習慣・基礎学力の定着が大切になります。1日のうち、少しの間でも、学習に向かう姿勢を身に着けられるよう声かけをお願いします。長い時間の学習でなくても、少しの音読やひらがな練習でも自分からやったことをたくさんほめていただけると、子どもたちの意欲が高まると思います。よろしくお願いいたします。

2年

かていがくしゅう

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】^{しゅくだい} ☆^{しゅくだい} ^{かくじつ} まずは宿題を確実にこなしましょう！

- 1 ^{おんどく} 音読・・・^{うち} お家の人に^{ひと} チェックしてもらいましょう。
- 2 ^{こくご} 国語・・・^{もじ} 文字は^{ていねい} 丁寧に^か 書きましょう。
- 3 ^{さんすう} 算数・・・^{かなら} できれば^{みなお} 必ず見直ししましょう。

【自主学習】

《^{こくご}国語》

1 ^{おんどく} 音読（^{こえ} 声に出して^よ 読みましょう。）

○^{ことば} 言葉を^{はつおん} ハキハキと^と 発音し、^{おんどく} 止まらずに、^{おんどく} すらすらと音読できるようにしましょう。

○^{れんしゅう} 練習を、^{うち} お家の人に^{ひと} 聞いてもらいましょう。

2 ^{もじ} 文字の^{れんしゅう} 練習

○^{えんぴつ} 鉛筆の^も 持ち方を^{かた} 常に^{つね} 意識して、^{いしき} ゆっくり^{ていねい} 丁寧に^か 書きましょう。

○^{がくしゅう} 学習した^{ひらがな} ひらがな・^{カタカナ} カタカナ・^{かんじ} 漢字を、^か 書き^{じゆん} 順や^き バランスに^つ 気を付けて^{れんしゅう} 練習しまし
しょう。

○^か ただ^か 書くだけではなく、^し その字について^よ 読み方や^{かた} 気をつける^き ところを^{せつめい} 説明できるよ
うになりましょう。

3 ^{どくしょ} 読書

○^{いち} 1日^{ぶん} 10分以上を^{もくひょう} 目標に、^{えほん} 絵本や^{しゅるい} いろいろな^{ほん} 種類の本を^よ 読みましょう。



4 視写

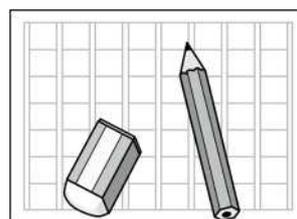
○少し難しい文を、漢字や知らない言葉もそっくりそのまま書き写しましょう。

5 作文（日記）

○はじめ（出来事の中心を短い言葉で書く。）、中（出来事の様子を詳しく書く。）、おわり（その時の気持ち）で文を書きましょう。

○くっ付きの文字をうまく使って、おうちの人に伝えたいことを書きましょう。

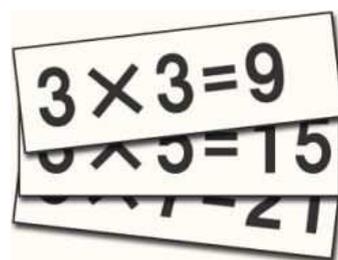
例「わたしは、うたをうたいます。」



○カタカナの言葉や習った漢字を使って書きましょう。

例「算数のじかんに、センチメートルのべんきょうをしました。」

○書いた文を読んでみて、おかしなところや同じことを何回も書いていないか読み直して確認してみましょう。



《算数》

1 授業で学習したことの復習

○授業で取り組んで、間違えた問題をもう一度やってみましょう。悩んだ問題をチェックして、同じまちがいをしないようにしましょう。

○その日、学校で覚えてきたことをノート1ページくらいで、自分の言葉でまとめてみましょう。

2 計算力のアップ・文章問題

○ドリルや計算カードを使って、何回も練習しましょう。早く、正確に解けるようになり返しましょう。

3 プリントやテスト

○授業で取り組んだプリントの問題やテストでまちがった問題をもう一度やってみましょう。次は絶対にまちがえないという気持ちで、わかりにくかった問題やテストでまちがったところの確認をしましょう。

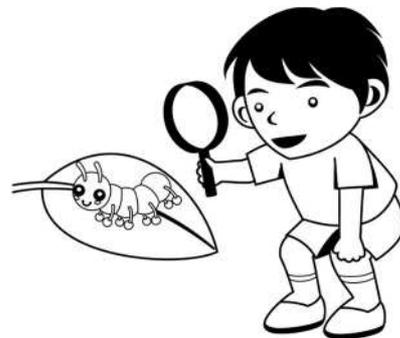
《その他》

○お家にある問題集をしましょう。

○上に書かれていない学習を自分で考えてするのもよいです。

例・詩を覚える。

- 言葉集めをする。(小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」「ら」「ろ」)
- わたしたちのまわりの花や虫を観察し、まとめる。
- 定規の練習をする。
- たし算、ひき算をする。
- 九九を覚える。
- ハーモニカの練習をする。
- なわとびや鉄棒で体力づくりにチャレンジする。 など



保護者の皆様へ

まだまだ一つのことに集中するのが難しい年代です。テレビやゲームが近くにあったり、近くで雑談をしたりするだけで、目の前の学習から目を離してしまいます。周りの環境を整え、「さあ、今から始めようか」という気持ちを作ってあげてください。また、いつまでに終わらせるのか、おおよその目標をキッチンタイマーなどで示してあげてください。

3年

かていがくしゅう

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】☆まずは宿題を確実にこなしましょう！

1 音読・・・点や丸に気を付けて、一語一語はっきりと読みましょう。

物語文では気持ちをこめて読みましょう。

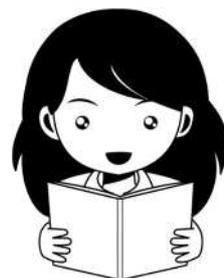
2 漢字・・・とめ、はね、はらいに気を付けて丁寧に書きましょう。わからない言葉が

あれば辞書を開いて調べてみると、より漢字が記憶されます。

3 計算・・・正確に丁寧にしましょう。終わったら見直しをしましょう。

じしゅがくしゅう
【自主学習】

こくご
《国語》



1 音読（声に出して読みましょう。）

○ゆっくり、はっきり、大きな口を開け、気持ちをこめて読みましょう。

○普段読んでいる教科書だけでなく、お気に入りの本を声に出して読ん

でみましょう。すべてを読むとかなり時間がかかりそうなら、時間を

決めて取り組みましょう。

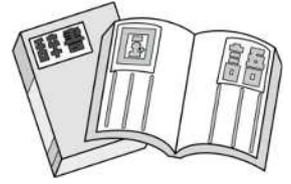
2 漢字の練習・意味調べ

○自学ノートに書きましょう。自学ノートはマス目が小さいので4マ

スで1マスとして漢字を書くのもいいですね。もちろん読み仮名も

つけましょう。

○意味調べは教科書の言葉だけでなく、テレビや自分の持っている本などからわからない言葉があれば調べて自学ノートに書くように
しましょう。



3 読書（1日15分以上）

○文字だけの本が苦手な人は図鑑など、絵の多い本から始めましょう。マンガは読書には含まれません。

4 視写

○国語の教科書など、気に入った文を丁寧に書きましょう。文字の間隔に気を付けて書きましょう。

5 作文（日記）

○段落に気を付けて書きましょう。「始め」「中」「終わり」を考えて相手に伝えるような内容を書きましょう。



《算数》

1 授業で学習したことの復習

○テストで間違えた問題をもういちどやってみましょう。何が原因で間違えたのかを考え、次は絶対に間違えないという気持ちで取り組みましょう。

2 ドリルの復習

○自学ノートに書きましょう。速さよりも丁寧に気を付けて問題を解きましょう。計算間違いがないように、見直しもしましょう。

3 教科書の練習問題

○自学ノートに書きましょう。ドリルと同様、丁寧に気を付けて書き、見直しをしましょう。

《社会・理科》



1 授業で学習したことの復習

○こん虫や植物の観察、実験のまとめ、東大阪市で働く人の様子など、自学ノートに授業でのポイントを思い出しながら書きましょう。

2 教科書の少し先の内容の予習

○次の授業で大事なところはどこなのかを自学ノートにまとめることも必要です。何を書くかがわからなければ、教科書を読むだけでも授業で教えてもらうことがわかりやすくなります。

3 インターネットや図鑑・資料集などを使った調べ学習

○調べたことは自学ノートに書きましょう。

保護者の皆様へ

小学3・4年生は好奇心が旺盛となり、自立心も芽生えてくることから、自分でやろうとすることが多くなります。自分でできることは自分でさせるようにしていくことが大切です。だからといって、任せっきりにするのではなく、特につまずきや苦手なことについては、家族の温かい励ましやアドバイスが、やる気をおこさせるうえでとても重要です。

4年

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】☆まずは宿題を確実にこなしましょう！

1 音読・・・点や丸に気を付けて、一語一語はっきりと読みましょう。

物語文では気持ちをこめて読みましょう。

2 漢字・・・ノートをしていねいにしあげましょう。わからない言葉があれば辞書を開いて調べてみると、より漢字が記憶されます。

3 計算・・・ドリルやプリントの問題を解き、必ず見直しをしましょう。

【自主学習】

《国語》

1 音読（声に出して読みましょう。）

○今、学習しているところを声に出して読みましょう。

○どの教科でも教科書の音読がおすすめです。読むだけでその単元の復習ができます。音読するときは、読んだ声が自分の耳にはっきりと聞こえるぐらいの大きな声で読みましょう。ぼそぼそと小さな声で読むと効果は半減します。

2 漢字の練習・意味調べ

○これまでに習った漢字をくり返し、自学ノートに練習しましょう。

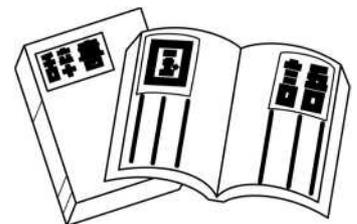
○漢字ドリルを見ながら、筆順や「とめ」「はね」「はらい」などに注意して書きましょう。

○漢字は「熟語」や「短文」で練習しましょう。

○国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。

調べたら自学ノートに意味も書いておきましょう。

○同じ部首の漢字や反対の意味の言葉を集めてみましょう。





3 読書（1日15分以上）

○自分の興味のある本を見つけて読みましょう。

（いつでも読めるように、本を1冊借りておきましょう。）

○だれかにすすめるように、本の紹介文を書いてみるのもいいですね。

4 視写

○教科書や本で、自分の興味のあるものや好きな物語を見つけて視写しましょう。

○習っていない漢字や言葉もそっくりそのまま書き写してみましょう。

5 作文（日記）

○段落に気をつけて書きましょう。

○「始め」「中」「終わり」を考えて、相手に伝わるような内容を書きましょう。

○心に残った出来事に題名をつけ、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましょう。

《算数》

1 授業で学習したことの復習

○授業で取り組んだ問題やテストでまちがえた問題などをもう一度やってみましょう。
苦手な問題のやり直しをして、同じまちがいをしないようにしましょう。

2 ドリルの復習

○自学ノートに、計算ドリルの解き直しを何回も練習しよう。速く、正確に解けるよう
にくり返しましょう。

《社会・理科》

1 授業で学習したことの復習

○教科書に線を引いたりノートを見返したりして、語句の整理をしましょう。

○習ったことを普段の生活で探したり観察したりして、記録をしていきましょう。

2 教科書の少し先の内容の予習

○次に習うところの大事なことをまとめてみたり、教科書を読んだりしてみま
しょう。初めて聞くのと聞いたことがあるのとでは、内容理解が全然ちがいます。

3 インターネットや図鑑・資料集などを使った調べ学習

○普段の生活で疑問に思うこと等を自学ノートにまとめ、調べ学習の時間に、いつで

も調べられるようにしましょう。自分で調べるということが大切です。

保護者の皆様へ

学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てきます。そのような時には、友だちやきょうだいと比べたりするのではなく、子どもの「やる気」を見のがさないようにして、ほめたり励ましたりすることで意欲を引き出していくことが重要となります。また、時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自立心や学習への集中力を高めることにつながっていきます。特にテレビやゲームなどの時間を、家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。

5年

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】☆まずは宿題を確実にこなしましょう！

- 1 音読…点や丸に気を付けて、一語一語はっきりと読みましょう。物語文では気持ちをこめて読みましょう。
- 2 漢字…ノートを丁寧にしあげましょう。わからない言葉があれば辞書を開いて調べてみると、より漢字を覚えることができます。
- 3 計算…ドリルやプリントの問題を解き、必ず見直しをしましょう。

【自主学習】

《国語》

- 1 音読（声を出して読んでみましょう）

○今、学習しているところを声に出して読みましょう。
（言葉を正しく理解し、内容を考えながら読む。）

○どの教科でも教科書の音読がおすすめです。読むだけでその単元の復習ができます。音読するときは、読んだ声が自分の耳にはっきりと聞こえるぐらいの声で読みましょう。ぼそぼそと小さな声で読むと効果は半減します。



- 2 漢字の練習・意味調べ

○これまでに習った漢字をくり返し、ノートに練習しましょう。
○漢字ドリルを見ながら、筆順や「とめ」「はね」「はらい」などに注意して書きましょう。
○漢字は「熟語」や「短文」で練習しましょう。
○国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味も書いておきましょう。
○同じ部首やつくりの漢字や反対の意味の言葉を集めてみましょう。



3 四字熟語・ことわざ・慣用句調べ

○意味を調べて、それらを使った文をつくってみましょう。

4 教科書の文から問題づくり

○教科書の文を使って、自分で問題をつくってみましょう。

例：「〇〇をしたのはだれですか。⇒△△と□□」

○教科書のてびきのページの言葉を使って文章をつくってみましょう。

《算数》

1 授業で学習したことの復習

○その日に学習した問題を、家でもう一度できるように練習しましょう。（「ドリル」などで同じような問題を探し、できるかどうか確かめましょう。さらに、次の日の予習をしておくのもよいです。）

2 計算力のアップ・文章問題

○分数のたし算・ひき算、小数のかけ算・わり算を確実にできるようにしましょう。

（必ず途中の式をのこしておくこと）

○教科書の問題や「もっと練習」の問題を中心に何度も繰り返しましょう。

○学習した計算を使った文章問題をつくり、解いてみましょう。



3 プリントやテスト

○今までに学習したプリントやテストの問題を、もう一度解いてみましょう。

○まちがえた問題は、チェックをし何度も繰り返し復習しましょう。

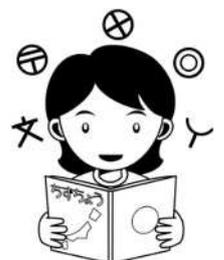
《社会・理科》

1 授業で学習したことの復習

○大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。

○大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

○都道府県名や県庁所在地、特産物など、大事な事柄はしっかりと覚えましょう。



2 教科書の少し先の内容の予習

○声を出して教科書を読みましょう。

○わからない内容や興味をもったことは、図鑑や事典、インターネットなどを使って調べましょう。

3 新聞を読む

○ニュースに関心を持ち、新聞を読んでみましょう。



《その他》

1 作文（日記）

○心に残った出来事に題名をつけ、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましょう。

○国語辞典を活用した引用の文章・4コマ漫画を使った組立の文章など、さまざまな文章を書きましょう。

○ニュースや身の回りの事から、それに対する自分の意見を書いてみましょう。（興味のある新聞記事を切り抜いておくとよいです。）

2 読書（1日 15分以上）

○いろいろな種類の本を読みましょう。

（いつでも読めるように、本を1冊借りておく）

○だれかにすすめるように、本の紹介文を書いてみるのもいいですね。

3 視写

○教科書の文や詩・新聞の記事をノートに書き写しましょう。

保護者の皆様へ

☆生活のリズムは、決まったことを決まった時刻にすることから身に付きます。「起きる時刻」「食事の時刻」「寝る時刻」などを決めて生活しましょう。テレビやゲーム、パソコンなどの時間がダラダラと長くなりすぎていないかも再確認しましょう。充実した日々を過ごすために、その日の予定を立て、見直しを持って学習しましょう。必ず、学習する時間を決めましょう。

6年

家庭学習ではこんなことにチャレンジしよう！

【宿題】☆まずは宿題を確実にこなしましょう！

1. 漢字…書き順を確認しながら丁寧に書きましょう。
2. 算数…終わったら必ず見直しをしましょう。
3. 新聞…記事を読んで自分が感じたことや思ったことも書きましょう。
4. 自学…自分で学習する内容を決め、めあてとふりかえりも書きましょう。

【自主学習】

《国語》

1 音読（聞いている人に意味がわかるように）

○今、学習しているところを声に出して読みましょう。

○どの教科でも教科書の音読がおすすめです。読むだけでその単元の復習ができます。音読するときは、読んだ声が自分の耳にはっきりと聞こえるぐらいの大きな声で読みましょう。ぼそぼそと小さな声で読むと効果は半減します。

2 漢字の練習・意味調べ

○これまでに習った漢字をくり返し、ノートに練習しましょう。

○漢字ドリルを見ながら、筆順や「とめ」「はね」「はらい」などに注意して書きましょう。

○漢字は「熟語」や「短文」で練習しましょう。

○国語辞典を使って、意味のわからない言葉を調べましょう。調べたらノートに意味も書いておきましょう。

○同じ部首の漢字や反対の意味の言葉を集めてみましょう。



3 四字熟語・ことわざ・慣用句調べ

○意味を調べて、それらを使った文をつくってみましょう。



4 教科書の文から問題づくり

○教科書の文を使って、自分で問題をつくってみましょう。

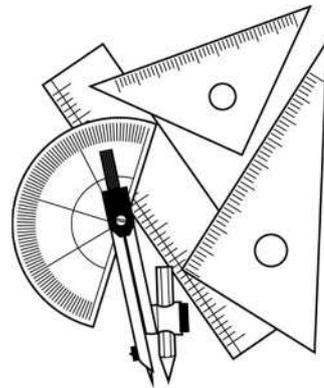
例：「〇〇をしたのはだれですか。⇒△△と□□」

○教科書のてびきのページの言葉を使って文章をつくってみましょう。

《算数》

1 授業で学習したことの復習

○その日に学習した問題を、家でもう一度できるように練習しましょう。（さらに、次の日の予習をしておくのもよいですね。）



2 計算力のアップ・文章問題

○分数のたし算・ひき算、小数のかけ算・わり算を確実にできるようにしましょう。（必ず途中の式をのこしておくこと）

○教科書の問題や「もっと練習」の問題を中心に何度も繰り返しましょう。

○学習した計算を使った文章問題をつくり、解いてみましょう。

3 教科書の練習問題

○今までに学習したプリントやテストの問題を、もう一度解いてみましょう。

○まちがえた問題は、何度も繰り返し復習しましょう。

《社会・理科》

1 授業で学習したことの復習

○大事なところに線を引きながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましょう。

○大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめてみましょう。

○歴史人物や時代の特徴を調べたり、年表や新聞をつくったりしてみましょう。



2 教科書の少し先の内容の予習

○声を出して教科書を読みましょう。

○わからない内容や興味をもったことは、図鑑や事典、インターネットなどを使って調べましょう。



3 新聞を読む

○ニュースに関心を持ち、新聞を読んでみましょう。



4 インターネットや図鑑・資料集などを使った調べ学習

○授業の中や普段の生活の中から出てきた疑問点、興味のある事から等をノートにまとめ、調べ学習の時間に、いつでも調べられるようにしよう。自分で調べるということが大切です。

《その他》

1 作文（日記）

○心に残った出来事に題名をつけ、習った漢字をできるだけたくさん使って書きましよう。

○国語辞典を活用した引用の文章・4コマ漫画を使った組立の文章など、さまざまな文章を書きましよう。

○ニュースや身の回りの事から、それに対する自分の意見を書いてみましよう。（興味のある新聞記事を切り抜いておくとよいです。）

2 読書（1日 15分以上）

○いろいろな種類の本を読みましよう。

（いつでも読めるように、本を1冊借りておく）

○だれかにすすめるように、本の紹介文を書いてみるのもよいですね。



3 視写

○教科書の文や詩などをノートに書き写しましよう。中学校では黒板に書くスピードが速くなるので、「きれいに速く書く」練習をしましよう。

○新聞のコラム（「天声人語」など）を書き写すのもよいですね。文章の構成が分かってきます。

保護者の皆様へ

充実した日々を過ごすために、その日の予定を立て、見直しを持って学習しましよう。必ず、学習する時間を決めましよう。また、将来の夢や希望、勉強する目的や学校での様子、失敗談などを家庭で話し合い、目標を持って努力することの大切さについて考えてみましよう。自分がどれだけがんばったのかが大切な点です。

伝記（偉人伝）などを読んで、人の生き方に関心を持つのもいいです。